

言語発達障害研究会 第 89 回定例会報告

日時:2023 年 1 月 21 日(土) 14:00~16:00

場所:オンライン

内容:1. 症例報告「コミュニケーションブック等を使用した脳性麻痺児への支援」

2. 絵記号絵本の紹介

講師:風間梨那(横浜市総合リハビリテーションセンター)

東川 健(横浜市西部地域療育センター)

今回の定例会は、2 題の内容で、オンラインによる講義形式で行われました。参加者は言語聴覚士を中心とした 44 名でした。

【講義概要】

1. 症例報告

理解面と表出面にギャップのある脳性麻痺児へのコミュニケーション支援について、主に発信面の変化に着目した約 1 年半の経過の報告です。全 26 回のセッションを、コミュニケーションの様子の変化でⅠ期からⅢ期に分け、それぞれの期で、受信、発信、質問応答、VOCA、文字、保護者面接の軸で訓練の内容が組みられています。訓練の主な目標は、代替的発信手段の獲得で、コミュニケーションブックの使用が論点になりました。

Ⅰ期では、コミュニケーションブックが導入され、子どもは現前事象を中心に、最大 6 個までの選択肢の中から指さしをして応答をしていました。Ⅱ期では、コミュニケーションブックの使用が定着し、「バナナ」「好き」の順で指さしをするなど、2 語連鎖でも伝えられるようになりました。他

にも、ブックを使用した要求や報告がみられるようになり、コミュニケーション機能の拡大がみられました。Ⅲ期では、コミュニケーション内容の幅が広がり、やりとりの中で自発的に音声や身振りを使用する場面も増えました。

ST 介入前は、受身的なコミュニケーションが中心でしたが、ブックの導入を通して、表現の幅が広がり、自発的な発信が見られるようになりました。また、要求や拒否、報告、質問などコミュニケーション機能の広がりも見られました。今後の課題として、コミュニケーション機能をどう広げていくか、そして児の表現内容の広がりについてどう対応していくか、が挙げられます。また、ブックの使用に加えて、Ⅰ期～Ⅲ期の間で音声や身ぶりについても変化が見られており、それらを自発的に使用できるような支援も必要だというアドバイスも挙がりました。



2. 絵記号絵本の紹介

絵記号絵本とは、英語圏で通称 "adaptive books"、"adapted books"(工夫の施された本)として紹介されているものの一部で、絵本に絵記号などを加え、子どもが視覚的記号を用いて絵本の内容を表現することを楽しむことができるようにした教材です。

絵記号絵本を<S-S法>の言語行動の3側面から捉えると、記号形式-指示内容関係では主に視覚的記号である絵記号

を用いています。また基礎的プロセスからの観点では絵記号の使用は範疇化のプロセスをへていることや、絵本の内容を絵記号で表現することは要素の分解、合成や模倣などが含まれていることが示されました。またコミュニケーション態度では、絵記号絵本を用いたやり取りの中で人に対する期待や共同注意、コミュニケーション機能、絵本の登場人物の感情などの状況文脈の理解が関連しており、3側面にまたがっている活動であることがわかります。

絵記号絵本の臨床での使用について、症例動画を交えた報告がありました。絵本活動を子どもの達成感を育む体験にするためには、対象に合わせて絵記号の数や複雑さで難易度を調整したり、教示方法や教示量を考える必要があります。自力での解読を促し子どもに達成感を持たせることの重要性も示されました。

今回の2演題の発表を通して、対象児に合わせた支援の方法について学ぶことができました。対象児の表現の幅が広がるようにスモールステップで支援していくことが大切であると感じました。

【参加者の声】

- 脳性麻痺のお子さんがどのような推移で理解、表出を獲得していくのか、実際に拝見したことがなかったので大変勉強になりました。
- コミュニケーションブックの使い方で悩んでいたのが大変参考になりました。お子さんの伝えたい内容が複雑になると、意図を理解するのが難しくなるといった事や、それに合わせてブックをどう発展させていけばよいのか等、私も難しいと感じました。
- 絵記号絵本は全くなじみがなかったのですが、実際の写真や動画が盛り込まれており、分かりやすく解説していただきありがとうございました。また、言語機能の段階別に取り入れるべき内容や具体的な本を提案していただいたので、あの子だったらこれはいけるかな？とイメージが浮かんできました。友人のSTにもこうした工作好きがいるので、ぜひ伝達しようと思いました。

内容

1)絵記号絵本とは

2) <S-S法> (記号的観点・3側面) から見た
絵記号絵本

3) 絵記号絵本の臨床での使用

4) 絵記号絵本の作り方

